

園芸学科通信

第10号

大学祭を開催!

滋賀県レイカディア大学・米原校

平成28年度後期必修講座である『滋賀県レイカディア大学米原校大学祭』が滋賀県立文化産業交流会館イベントホールに於いて開催されました。



また、第3日(必修講座)は、ステージ発表(学習成果発表)で、いずれも3日間を通して、卒業生の活動発表(展示・実践)やフットボールの発表も多めに構成されています。

第39期園芸学科生一同も、事務局が指示した内容を踏まえ、上野清治文化委員長を中心に大学祭の準備に取り組みました。

大学祭は、7月26日、27日、28日の3日間開催されました。大学祭のねらいについては、『日頃の学びを発表・実践し、それらを通じて、地域での活動と交流を深めること。』とされています。

七月四日の選択講座は、『野菜づくりの基礎』として、土づくり、肥料の役割と分類、畝立てと種まきを、また、野菜を品種ごとに分け、それらの栽培のポイントとコツを中心に受講しました。



松原講師から野菜づくりの基礎について野菜園の特徴と作り方の説明を受ける

また、第3日(必修講座)は、ステージ発表(学習成果発表)で、いずれも3日間を通して、卒業生の活動発表(展示・実践)やフットボールの発表も多めに構成されています。

『やしろべえ』や山桜を利用した「ハードコート」をフレゼントとして持ち帰ってもらうことを決めました。これで大学祭の準備は整い本番を待つのみとなりました。

平成29年7月26日、大学祭の会場である滋賀県立文化産業交流会館にて、準備が整った第39期園芸学科生が集合しました。展示するために、各自が持ち寄った花の苗や竹細工などを会場に運び、あらかじめ決められた場所に展示しました。

竹細工による花入れやペットボトルの風車を作る体験コーナーでは、親子連れの参加が多く、特に、園芸学科生と一緒にノコギリやハサミを使って花入れに取り組んだ子供が作業する様子を、テレビ局が撮影することができ、みんな終始笑顔で取り組んでいました。

園芸学科生による展示ブースの様子や、竹細工の体験をテレビ撮影の様子を掲載しています。

園芸学科生による展示ブースの様子や、竹細工の体験をテレビ撮影の様子を掲載しています



園芸学科生による展示ブースの様子や、竹細工の体験をテレビ撮影の様子を掲載しています



レイカディア大学・米原校

編集後記
平成29年7月31日発行の第39期「園芸学科通信」第10号をお届けします。

編集後記
平成29年7月31日発行の第39期「園芸学科通信」第10号をお届けします